



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 JUKI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6440 URL <https://www.juki.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清原 晃
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートオフィサー財務経理部長 (氏名)南 大造 (TEL) 042-357-2211
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	16,860	△34.5	△1,472	—	△1,732	—	△1,836	—
2019年12月期第1四半期	25,753	0.4	1,349	8.7	1,103	16.6	727	55.2

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期△2,520百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 904百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△62.69	—
2019年12月期第1四半期	24.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	110,486	34,499	30.6
2019年12月期	114,715	37,752	32.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 33,812百万円 2019年12月期 37,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルスの感染拡大について、現時点ではその収束時期の見通しが立っておらず、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため、2020年2月14日に公表した2020年12月期の通期連結業績予想を一旦未定とさせて頂き、業績予想の公表が可能となった時点で改めて公表させて頂きます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	29,874,179株	2019年12月期	29,874,179株
2020年12月期1Q	578,836株	2019年12月期	578,789株
2020年12月期1Q	29,295,367株	2019年12月期1Q	29,295,766株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における事業環境は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に出入国や国内移動が制限される中、企業の事業活動が停滞する状況が続いており、世界経済は急速に減速しております。

当社は2020年から2022年の構造改革を軸とした中期計画フェーズⅡにおいて、そのビジョン「お客様とJUKI製品・サービスを通じて企業価値を向上できる“モノ-コト”づくり企業」の下、“5つの変革※”を軸とした構造改革、すなわち ①管理間接業務のスリム化などによるコスト構造改革、②高収益分野の営業力強化などの事業領域拡大による付加価値の極大化、③ミドルマーケット開拓強化などのボーダレスによる顧客基盤強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、当社を取り巻く環境は、中国、ベトナム、日本の当社工場は通常稼働が可能な状況にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、お客様である各国各地域の縫製工場や電子部品工場等で事業を停止し、休業状態となっている企業があるなど総じて厳しい状況となっております。その影響を受けて当社の売上も各地域において伸び悩み、売上高は168億6千万円(前年同期比34.5%減)となりました。

利益面につきましては、コストダウンや構造改革による経費節減に努めましたが、売上減の影響および工場稼働率の低下等により営業損益は14億7千2百万円の損失(前年同期は13億4千9百万円の利益)、経常損益は17億3千2百万円の損失(前年同期は11億3百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は18億3千6百万円の損失(前年同期は7億2千7百万円の利益)となりました。

このような環境に対応するため、当社は期初に掲げた構造改革を更に深掘りし、本社や国内外のグループ工場の一斉操業停止を含む大幅な生産調整、管理(間接)部門の一時帰休、処遇も含めた人事制度改革、設備投資計画の見直し等により、第2四半期に前年同期比16億円の経費削減を進め、収益改善を図るとともに、専門部署の組織化による業務オペレーションの見直し、RPA導入、在宅勤務環境の整備などで業務の効率化を図り、間接部門を含めた生産性の更なる向上を実現してまいります。また、役員報酬(月額報酬及び賞与)につきましても一部自主返上をしております。

(※5つの変革=①成長力のある市場・お客様の開拓、②収益力をアップする事業領域の拡大、③イノベティブな技術領域の拡大、④経営の5S(Simple、Slim、Speedy、Seamless、Smart)を軸とした生産体制及び管理(間接)業務体制の構築、⑤“持続可能な”経営の実践)

(主なセグメント別の概況)

①縫製機器&システム事業

売上は各市場で減少し、縫製機器&システム事業全体の売上高は106億6千2百万円(前年同期比37.6%減)となりました。利益面においては、コストダウンや構造改革によるコスト削減に努めましたが、売上減少や工場の稼働率低下の影響などにより、セグメント損益(経常損益)は9億2千2百万円の損失(前年同期は7億9千5百万円の利益)となりました。

②産業機器&システム事業

産業装置では中国を中心に各市場で売上が減少し、また受託加工等のグループ事業でも車載関連等の売上が伸び悩み、産業機器&システム事業全体の売上高は61億4千万円(前年同期比28.7%減)となりました。利益面においては、コストダウンや構造改革によるコスト削減に努めましたが、売上減少や工場の稼働率低下の影響などにより、セグメント損益(経常損益)は3億8千4百万円の損失(前年同期は6億7千9百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ42億2千9百万円減少して1,104億8千6百万円となりました。負債は、買掛金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ9億7千6百万円減少して759億8千7百万円となりました。純資産は、四半期純損失や配当金支払いにより利益剰余金が減少したことに加え、為替換算調整勘定のマイナス額が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ32億5千2百万円減少して344億9千9百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は30.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大については、世界的に出入国や国内移動が制限される中、企業の事業活動が停滞する状況が続いております。

現時点ではその収束時期の見通しが立っておらず、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため、2020年2月14日に公表した2020年12月期の通期連結業績予想を一旦未定とさせて頂き、業績予想の公表が可能となった時点で改めて公表させて頂きます。

また、上記に伴い、2020年12月期の期末配当予想につきましても未定とさせて頂き、2020年12月期通期連結業績予想の算定が出来次第、改めて公表させて頂きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,987	7,454
受取手形及び売掛金	30,461	25,299
たな卸資産	41,461	41,350
その他	2,684	2,726
貸倒引当金	△383	△495
流動資産合計	80,210	76,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,514	11,254
土地	6,362	6,322
その他(純額)	6,278	6,401
有形固定資産合計	24,154	23,978
無形固定資産		
投資その他の資産	2,096	2,070
その他	9,611	9,443
貸倒引当金	△1,357	△1,340
投資その他の資産合計	8,254	8,102
固定資産合計	34,505	34,151
資産合計	114,715	110,486
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,120	6,103
電子記録債務	2,877	2,560
短期借入金	37,211	37,984
未払法人税等	452	348
賞与引当金	28	429
その他	7,078	5,487
流動負債合計	54,769	52,913
固定負債		
長期借入金	15,400	16,399
役員退職慰労引当金	61	63
退職給付に係る負債	5,251	5,230
その他	1,480	1,381
固定負債合計	22,194	23,074
負債合計	76,963	75,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	20,494	17,925
自己株式	△607	△607
株主資本合計	39,966	37,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468	333
為替換算調整勘定	△3,437	△3,953
退職給付に係る調整累計額	40	34
その他の包括利益累計額合計	△2,929	△3,585
非支配株主持分	714	687
純資産合計	37,752	34,499
負債純資産合計	114,715	110,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	25,753	16,860
売上原価	18,057	12,742
売上総利益	7,695	4,117
販売費及び一般管理費	6,345	5,590
営業利益又は営業損失(△)	1,349	△1,472
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	72	61
貸倒引当金戻入益	6	2
その他	121	142
営業外収益合計	209	220
営業外費用		
支払利息	204	199
為替差損	237	249
その他	14	32
営業外費用合計	456	480
経常利益又は経常損失(△)	1,103	△1,732
特別利益		
固定資産売却益	4	27
特別利益合計	4	27
特別損失		
固定資産除売却損	3	4
投資有価証券評価損	—	47
特別損失合計	3	52
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,104	△1,757
法人税等	362	99
四半期純利益又は四半期純損失(△)	742	△1,856
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	727	△1,836

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	742	△1,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△134
為替換算調整勘定	137	△523
退職給付に係る調整額	△9	△5
その他の包括利益合計	162	△663
四半期包括利益	904	△2,520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883	△2,492
非支配株主に係る四半期包括利益	21	△27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,083	8,607	25,690	62	25,753	—	25,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	290	45	335	105	441	△441	—
計	17,373	8,652	26,026	168	26,194	△441	25,753
セグメント利益	795	679	1,474	13	1,487	△384	1,103

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△384百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△379百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,662	6,140	16,802	57	16,860	—	16,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	23	229	105	335	△335	—
計	10,868	6,163	17,032	163	17,196	△335	16,860
セグメント利益 又は損失(△)	△922	△384	△1,307	19	△1,287	△445	△1,732

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△445百万円には、セグメント間取引消去55百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△500百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。